

# 平成 30 年胆振東部地震検証提言書および報告書が伝達されました

令和 4 年 4 月 6 日(水)、胆振東部地震検証本部会より「平成 30 年胆振東部地震検証提言書および報告書」が及川町長へ手渡されました。今回は、報告書等の概要について皆様にお伝えします。

この業務は、激甚災害という今まで経験したことのない難局を経験した町の災害対応について、対応の妥当性や課題を把握するために行なわれたものです。

また、提言書および報告書の詳細については町ホームページで公開する予定です。



## ●報告書の構成検証項目

### 第 1 部 検証結果と提言 編

行政職員アンケート、関連組織調査、中学生調査、生活復興調査などの調査結果から、被災地における残された課題や町における今後の災害に備えるための課題等を検討・取りまとめ、町に対する提言の内容となっています。

#### 1. 検証結果に基づく提言

調査結果から、被災地における残された課題や安平町における今後の災害に備えるための課題等を検討・とりまとめられたもの。今後の災害への備え、今後の震災からの復興を推進する際の指針として本提言を活用し、災害に強い安全安心なまちづくりに向けて、関連施策の充実と促進を図ることを目的に提言。

#### 北海道胆振東部地震をふまえた 4 つのテーマと 12 の提言

～町民、地域、企業、行政が総力を結集した、震災前より元気で魅力的な安平町の復興に向けて～

#### 1. 被災者の生活再建に係る課題

- (1) 復興程度には未だバラつきがあるため、「一人の取り残しのない復興」に引き続き取り組む。
- (2) 「自宅の被害程度が高い」「若い世代」「高齢世代」で、ストレスが比較的高いことに配慮し、被災者のこころとからだのストレスの軽減に継続的に取り組む。

#### 2. 今後の地域作りに向けた課題

- (3) 地区によって復興のスピードの感じ方にはバラつきがあるため、被災者の意見を踏まえながら復興スピードの加速に継続的に取り組む。
- (4) 復興まちづくり計画については、これまで進めてきたこと、これから進めようとすることに、より一層町民の関心を高める。
- (5) 災害対策としての農業・畜産業に対するリスク管理について、安平町と JA 等の関係機関で積極的に検討する。
- (6) 道路・施設、建物の復旧・復興における町民の充足度を把握し、今後の整備につなげる。



震災当時の道路被害